

## 小規模企業景気動向調査(10月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・依然として新型コロナウィルスの影響は事業者に大きな悪影響を与えている。しかし、GoToキャンペーンのスタートや各事業所のコロナウィルスへの対策が普及したことに加え、国民の意識が少しずつ外に出る方向に変わってきていることから、以前ほどの絶望的な状況からは少し抜け出しているように感じる。マスクの着用やアルコール消毒などの感染防止に向けた取り組みや意識付けが国民に根付き始めていることから、外食や買い物、レジャーなどに人々が出始めているためではないだろうか。

(八百津町商工会)

- ・市内動向は、新型コロナウィルスの感染拡大防止に配慮しつつ、個人消費は、緩やかに持ち直し傾向を維持している。月度では、緩やかではあるがヒトの動きが戻りつつあることから、総じて景況感は改善傾向に向いている感じがある。生産活動も持ち直し傾向がみられているものの、一部では一進一退の事業所もあり、今後の経済活動の活発化が望まれる。先行き感については、感染症の影響が続くなかで、Go Toキャンペーンなどによる大規模な各種政策による経済対策の効果を期待している一方で、冬期に向けての感染の再拡大を不安視する声も多い。

(川西市商工会)

- ・国・自治体等による消費喚起政策を契機に活気が取り戻せているようではあるが、回復したとは言えず、引き続きの支援策を希望されている。

(神石高原商工会)

- ・全体的には、GOTO関係により若干、景気が上向き傾向にある。

(川上商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・巣ごもり需要により食品や生活必需品は安定的に推移しており、観光、飲食関連もGoToキャンペーンが好調でかなり客が戻って来た。ただ、他の業種を含めて総合的に言えることは、新型コロナウィルス感染症の終息への動きが今後のカギを握っている。

(寺泊町商工会)

- ・コロナ禍の馴れもあるのか、一般消費者の動きは徐々に戻りつつあるが、コロナ対策を講じながらであるため、対前年までは戻っていない。また、引き続き、業界によっては人手不足が顕著であり、募集をしても集まらない現状が常態化しており、業務が滞っている。

(富山市南商工会 婦中支部センター)

- ・先日も浜松でクラスター感染が出ており、どの業種も年末に向け繁忙期に入るが、経済と感染対策のバランスが難しい。

(御前崎市商工会)

- ・国、県、市の支援策が本格的に始まり、仕事や取引量がコロナ前に戻りつつある事業所が増加している。一方で、徐々に県内のコロナ感染者がまた増え始め、経済に与える影響を不安視する声もある。

(東近江市商工会)

- ・全体的には売上が回復途中有ると思われるが、地域内にコロナ感染者が発生すればたちまち厳しい状況に戻るので気の抜けない状況が続いている。

(伊佐市商工会)

### 2. 製造業

- ・GoToトラベル事業の影響により観光客が増加し来店者数、売上ともに増加。紅葉シーズンは近隣からの観光客が増加し昨年同時期より売上増加となった。

(玉造商工会)

- ・生産活動は、電子部品や自動車部品、工作機械部品など、10月期においても、ゆるやかではあるものの、上向き傾向に動き出しているところが多いが、一部では生産が下振れするなど一進一退の事業所もある。ただ、全体的に大きく回復しているとはいえず、市内の小規模事業者にとっては、小幅な回復基調にとどまっており、依然として厳しい経営環境の中にいる。先行きについては、国内消費の喚起施策により、生産活動が平常化に向くことを期待している声が多数である。

(川西市商工会)

- ・食品製造業においては、洋菓子店向けの製品に動きが出だした。GOTOトラベルの影響か、季節的な製品の動きも加味して売上が少し回復してきた。機械製造業においては不变の状況である。

(えびの市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・自動車関連の部品製造業(日産系)はコロナ影響で世界的な自動車生産・販売の減少が響き、生産調整で減産・休業がつづき、下請けメーカーに影響が出ており、回復は見通せない状況になっている。  
(大磯町商工会)
- ・織物製造関連の事業者は、コロナウイルス感染症の影響で輸出物が動かず、稼働率が悪くなっている。取引先の商社が在庫を積んでいるので、大幅な減少とはなっていない。

(能登鹿北商工会)

- ・食料品関連の製造業は、Go To トラベル キャンペーンや個人観光客の近隣観光の復調により前年比8割以上の売上確保で復調傾向。今後の一層の回復に向け期待感が高い。繊維工業関連の製造業は、需要の低迷に加えてコロナウイルスの影響を受け、厳しい経営が続いている。下請け企業も打撃を受けており、以前休業等を実施している状況。機械金属関連の製造業は、国内向けは90%近く回復しているが、海外向けの動きは今一つ。雇用調整助成金は12月末まで利用予定。

(中部商工会産業支援センター)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生産活動は弱めの動きとなっている。自動車関連業種は需要が回復基調にあり持ち直しつつある。生産用・業務機械等製造業種は、国内外の需要停滞により低調な生産である。木材は、感染症の影響が薄らぎ堅調に推移している。

(雲南市商工会)

- ・食料品製造業はやや減少のまま横ばい、繊維工業は取引先の取り扱い規模が大きく減少しているため低下のまま横ばい、機械金属製造業は回復の兆しがあるものの将来的な見通しは不明とのコメントが寄せられている。

(宇美町商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・建築関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響で日伸びになっていた作業を開始したため、少しづつ、売上回復してきている。

(吳広域商工会)

- ・コロナ禍で停滞していた受発注が再開しており、民需を中心に堅調。公共工事も災害復旧需要が出ており、作業員不足がみられめほど堅調。

(かのや市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・停滞していた受注工事の再開が見られているものの、材料供給が一部不安定であったり、作業状況も3密対策が必要になるなど進み具合が遅くなるなど、コロナ禍の影響が完全には払しょくできていない状況が継続している。受注数の減少により、売上の大きな回復には至っていない。住宅関連においても、前月に続き、少しづつではあるが、顧客との商談・販売も動き出している。先行きについては、冬期に向けて、コロナウイルス感染の再拡大に対しての

(川西市商工会)

- ・工事業全般に、工期の遅れや工事再開の見通し不透明な状況が依然として続いており、受注確保・資金繰りに苦慮する事業者が多く存在している。

(岡山北商工会)

- ・材料の調達、雇用の関係、コロナの影響により、受注ベースで工事が動いており、工期の短縮は難しい状況。

(柳川市商工会)

- ・業務が繁忙している事業者もいるが、一般消費の減退等の影響により今後の受注工事の見通しに不安を抱えている面もある。

(福津市商工会)

- ・建設関連の事業者は、コロナウイルスの影響による景気低迷の影響を受け、受注難、資材の調達難、人出不足の状況が続いていること、相対的に売上が減少している事業者が多い。

(南九州市商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・外食産業が好転してきているので食料品売り上げは伸びている。Gotoキャンペーンにより外出機会が増えることで、衣料品の売上高も回復中。

(姫路市商工会)

- ・衣料関連の事業者は、少しづつお客様の外出が増えてきたため、売上回復しつつある。

(呉広域商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

コロナ禍の影響により衣料品小売への影響は大きい。食品関連も巣ごもり特需は大型店やドラックストアに流れ、小規模店は厳しい状況。耐久消費財の家電では順調な売上を維持したが、支払いでの掛け売りが増え資金繰りが苦しい。

(坂井市商工会)

・衣料品小売業の消費マインドは、外出は少しづつ回復傾向にあるものの依然自粛傾向もあり、リモートワーク等の新しい生活様式の中で、需要の低迷が続いている。食品小売業についても、運動会や文化祭等の自治会などのイベント中止の中で団体注文等が低迷。飲食業については、GoToEAT等で若干戻りつつあるものの、利用は主に大手チェーン等が主流で、小規模飲食店等の景況回復迄には至っていない。耐久消費財については、通販等の需要は順調で特に大きな変化は見られない。

(瀬田商工会)

・食料品関連の小売業は、顧客数が減少してきている。全体的に売上減少。衣料品関連の小売業は、人口減、高齢化に伴い、顧客数が減少してきている。若年層は町外に買い物に出て行き、新規顧客獲得も難しい状況。また、大手スーパーや量販店の影響も大きい。耐久消費財関連の小売業は、高齢化、人口減の影響により需要が少なくなってきた。また、大型店の影響も大きい。

(串本町商工会)

・飲食小売業の売上は安定している。ただ、耐久消費財についてはネット購入者の増加と大型量販店の一人勝ちの傾向が強く、地域の小売店の売上は大きく減少している。

(日高村商工会)

## 5. サービス業

#### <改善傾向を示すコメント>

・旅館業及びクリーニング業では、人の移動が活発になたためか、前年よりも若干の売上増となっている。理容業においては、変化なし。

(枝幸町商工会)

・理美容に関しては、コロナ禍前半からすると持ち直している。

(吉田三間商工会)

・コロナウイルスの影響もあり、消費者が外出を控えていることもあり、来店頻度の減少など、サービス業全般において売上減少が続いている。しかしながら一方で、国・県・市などの積極的な施策の活用で、徐々にではあるが状況が回復傾向に向かっているように見受けられる。

(南九州市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・理美容業は来店サイクルが延びており個人店では売上に波があるが客数も戻りつつある。旅館業はgotoトラベルの恩恵を十分に受けられておらず、大手事業者との格差が浮き彫りになっているとの声もある。

(西東京商工会)

・旅館業はGoToトラベルの影響で一般客の需要は少しづつ回復しつつあるも、修学旅行等団体客の需要が回復しておらず、引き続き厳しい状況。洗濯業も新しい生活様式の中で、外出減少や自宅で洗濯する傾向が定着しつつあり、回復には至らず厳しい状況である。理美容業についても、これまでの来店サイクルのスパンが伸びて、来店回数が減少傾向にあり売上は落ち込んでいる状況にある。

(瀬田商工会)

・gotoキャンペーンの効果もあり予約、問い合わせが増えている。しかしながら今後のコロナの状況によってはどうなるか分からぬ状況であり先行き不透明である。

(与謝野町商工会)

・宿泊業についてはGOTOトラベルにより、価格帯の高い旅館については来宿者数は回復基調となっている。価格帯の低いゲストハウスなどは依然として厳しい状況が続いている。

(岩美町商工会)

・コロナの影響で、利用が減少しており、売上は大幅に減少している。先行きが不透明で不安である。

(浅口商工会)